

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年6月15日

青森県知事 三村 申吾 殿

提出者

住 所 青森県五所川原市漆川字鍋懸 156 番地

氏 名 富士電機津軽セミコンダクタ株式会社

代表取締役社長 桃井 透

電話番号 0173-35-5671

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富士電機津軽セミコンダクタ株式会社
事業場の所在地	青森県五所川原市漆川字鍋懸 156 番地
計画期間	2023年4月1日 ～ 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	集積回路製造業(日本産業分類コード:2814)
② 事業の規模	2022年度出荷額 185 億円
③ 従業員数	355 名 (有期従業員を含む)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製造プロセスから発生する産業廃棄物を産業廃棄物処理業者の処理施設で中間処理している。一部汚泥においては水処理施設に於いて脱水処理後産業廃棄物処理業者の処理施設で中間処理している。別紙1参照

（日本産業規格A列4番）



(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3表2参照	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3表2参照	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3表3参照	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3表3参照	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3表5参照	
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

【別紙1】

産業廃棄物の一連の処理の工程

発生源	廃棄物		処理	処分
排水処理工程 →	汚泥	脱水ケーキ汚泥	焼成 →	セメント材料
PIQ塗布工程 →	廃油	現像液、他溶剤	焼却 →	最終処分
部品、材料受入 →	廃プラスチック類	梱包材、空容器類	破砕 →	プラスチック材料
イオン注入工程 →	金属屑	薬品付着金属屑	熔融 →	金属材料
純水製造工程 →	燃え殻	活性炭	焼成 →	セメント材料
部品受入 →	木屑	梱包材	焼却 →	最終処分
拡散、エッチ工程 →	ガラス屑	石英ガラス屑	熔融 →	最終処分
めっき工程 →	廃酸・廃アルカリ	めっき液	中和 →	最終処分

表1

表1

表2

表3

表4表5[illegible]